

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



咲くやこの花館では、砂漠で1000年以上生きるキソウテンガイほか世界各地の植物を見て回った。

Contents

- 緑の地球ネットワーク第23回総会のお知らせ P 2
- gooddoのクリック基金にご協力ください P 2
- 大同緑化協力25年の軌跡 P 4
- 大学生が感じた黄土高原スタディツアー P 6

2017.3
174

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク

認定 NPO 法人緑の地球ネットワーク 第 23 回総会のお知らせ

GEN の新プロジェクト、河北省張家口市蔚県での緑化協力がスタートしました。4月8日にはいよいよ第1弾のスタディツアーが発効します。大同でこれまで培ってきた経験や技術を生かし、これからも顔の見える緑化協力を進めていきます。

日本国内では、東日本大震災で被害にあった海岸林再生の活動、自然と親

しむ会、関東ランチなど引き続きおこないます。みなさんと一緒に GEN の活動をより発展させていきたいと思ひます。ぜひ総会に参加し、これからの GEN の活動についてみなさんのご意見をお聞かせください。

今回、総会前の記念講演では GEN 世話人で立教大学教授の上田信さんに、研究者の視点から見た張家口市蔚県に

ついてお話しいたします。

* * * * *

【緑の地球ネットワーク第 23 回総会】

○日時：2017 年 6 月 17 日（土）13 時 30 分～16 時 40 分

○会場：大阪産業創造館（大阪市中央区本町 1-4-5 tel.06-6264-9911 地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅下車徒歩約 5 分）

○記念講演：13 時 30 分～15 時

○講師：上田信さん（立教大学教授）

○会員総会：15 時 20 分～16 時 40 分

○総会終了後に懇親会を予定しています。

ワークへ提供されます。

またその下の「楽天で買い物をする」をクリックして楽天のページにはいり、そこで買い物をしていただくと、購入金額の 0.5%が、緑の地球ネットワークへの寄付金になります。

毎日こつこつワンクリックを続けていただくと同時に、無料で気軽にできる支援として、ご家族・お友達に広めていただくようお願いいたします。

無料でできる！

gooddo のクリック募金にご協力ください

昨年 5 月からはじめた、スマホ・パソコンでワンクリックするだけで無料で GEN を支援できる gooddo（グッドゥ）のワンクリック募金、ご協力いただいていますでしょうか。

おかげさまで、昨年 10 月～12 月の 3 か月間の支援金額は 22,750 円になり、1 月には、はじめて 1 カ月で 1 万円をこえて、11,507 円になりました。ありがとうございます！みなさまの毎日のワンクリックと楽天でのお買い物などがこれだけの支援になります。

得られるポイントが 20 ポイントから 1,000 ポイントまでとくじ引きのような要素があるのも、日々「今日は何ポイントかな」という楽しみがあります。方法は簡単。パソコン、スマホ、タブレット、なんでもけっこうです。<http://gooddo.jp/gd/group/gentree/?from=fbn0>

このページを開き、すこし下にスクロールすると、「毎日のクリックで応援する」というコーナーがあります。そこの「応援する！」という赤いボタンをクリックすると、20 ポイントから 1,000 ポイントがカウントされます。1 人 1 日 1 回可能です。

月曜日～日曜日の 1 週間分がまとめられ、ゴール 1（3,000 ポイント）、ゴー

ル 2（5,000 ポイント）、ゴール 3（10,000 ポイント）、ゴール 4（20,000 ポイント）、ゴール 5（30,000 ポイント）の到達ゴールに応じて、10 ポイントを 1 円に換算して、活動資金として緑の地球ネット

参加者
募集

GEN 自然と親しむ会 佐野丘陵緑地郷の棚田活動 懐かしい作物や花などを植えて楽しむ

昨年におこなった泉佐野丘陵緑地の「郷の棚田プログラム」ですが、今年も応募し、採用されました。昨年植えた黄花草（ユウスゲの仲間）は大好評で、黄色のきれいな花が来園者の目を楽しませていたそうです。今年も引き続き同じ場所で育てるほか、アワ、キビ、オシロイバナも植え育てます。

棚田での植え付け作業のあとは、丘陵緑地内を散策してまわり、自然観察を楽しみます。4 月上旬なので丘陵緑地のサクラが楽しめるかも。

○日程：2017 年 4 月 1 日（土）10 時 45 分～14 時ごろ

○場所：大阪府営泉佐野丘陵緑地（大阪府泉佐野市上之郷 90 番地 Tel.

072-467-2491）

○集合：10 時 45 分に泉佐野緑地パークセンター前（10 時 36 分発の JR 阪和線「日根野」駅発のコミュニティバスに乗ると 10 時 45 分に「泉佐野丘陵緑地パークセンター」に到着します）

○参加費：500 円（保険料を含む）

○定員：20 名程度

○持ち物：弁当、飲みもの、敷物。雨具、帽子、タオル、軍手。動きやすく汚れてもいい服装、靴でお越しください。

○申込み：3 月 29 日（水）までに氏名、生年月日、連絡先を GEN までご連絡ください。

※小雨決行



植物の存在がより身近に

竹取乃紀美子（GEN 会員）

1 月 28 日（土）、鶴見緑地にある「咲くやこの花館」で自然と親しむ会をおこないました。館長の久山敦さんの案内で館内はもちろんバックヤードも見学しました。24 名が参加しました。

鶴見区にある「咲くやこの花館」は、世界中の各気候帯の花や樹木が一堂に会する植物好きにとってはメッカ。今回は館長直々のご案内でめったにないチャンス。入館をわくわくして待ちました。

まずはスクリーンを使つての館の概要説明があり、感じよく纏まっています。館長がプラントハントで歩いた中国奥地やブータン、ヒマラヤなどの写真もあり、到底ゆけない所ですので興味津々です。またバラ、カトレア、山野草や盆栽等の植物関連の団体の特別展、絵画展や写真展など多彩な事業が行われ、なかでも大阪が発祥のハンギングバスケット展は盛んだとのこと。

頂戴した「原産地の世界地図」には、日本名で親しまれている草花の故郷が記されています。動物にくっついて移動したり人の手で運ばれたり、また何万 km も波に運ばれて根付いたものもあるとか。植物の繁殖の仕組みには目を

見張るようなたくましが在るようです。

午後は館長を先頭に館内の各コーナー巡りです。植物の特長や子孫を残す戦略の巧みさを聞くと「おー見習わんとあかん！」なんて気持ちになります。可愛い花や元気な緑に接しつと歩くと、そのエネルギーが身に沁みきます。来館者がいつも花が楽しめる様にとバックヤードで温度や日照時間を調節し、開花期を管理しているとのこと。弱ったのは植え換えて研究したり、繁殖の実験もしているとか。普段見学出来ないバックヤードですが、その充実が館の充実に繋がっていることがよく分かります。

植物は昆虫との共生で進化してきました。そのことを考えて、昆虫博士とのコラボを計画しているとのこと。館の新しい面に期待が膨らみます。

鶴見在住の人間には庭のよ



うな鶴見緑地。でも館の見学の機会は少なく、今回の様に丁寧に説明してもらうとより親しみが持てます。そして改めて植物と人間との関わりを考えました。衣食住全般に無くてはならないのは勿論、文化や精神性においても切り離せません。普段は忘れていますが、植物が作り出す酸素がなければ、私達は生きて行けません。身近な草花も里山も森も大切にしなければって、しみじみと思いました。



参加者
募集

GEN 自然と親しむ会 前中代表と歩く「野の道」シリーズ

4 月からの特別企画として気軽に参加できる自然観察会をシリーズでおこないます。GEN の前中久行代表の案内で、平坦地を中心に最大 5km 程度のコースを歩きましょう。

普段気が付かずに見過ごしている植物のあれこれについて学べるよいチャンスです。

「野の道」シリーズ 3 回すべてにご参加いただいたかたには蔚県の切り絵をプレゼント！1 回のみの参加ももちろん歓迎です。

▼4 月 22 日（土）満願寺→最明寺滝→阪急山本を歩く 9 時 50 分に阪急宝塚線「雲雀丘花屋敷」駅集合（10 時 6 分発のバスに乗り、阪急宝塚線「山本」駅解散

▼5 月 27 日（土）富田林市錦織を歩く（大阪府営錦織公園）

▼6 月 24 日（土）神戸市北区山田町藍那を歩く（あいな里山公園）

※5 月以降の詳細は次号以降でご案内します。

○時間：10 時～14 時ごろまで

○参加費：500 円（保険料を含む）

○持ち物：歩きやすい服装、靴、弁当、飲み物、帽子、あれば植物図鑑

○申し込み：GEN 事務所まで氏名、生年月日、連絡先をご連絡ください。GEN のホームページからお申込みできます。詳細は GEN ホームページのイベント情報をご覧ください。<http://gen-tree.org/event/index.html>

古切手のご協力 に感謝

日頃、古切手や書き損じはがきの回収にご協力いただきありがとうございます。

今年度、これまでにお送りいただいた書き損じはがきは、30,627 円相当の切手やミニレターに交換して通信費として活用いたしました。

また、古切手・外国コイン等は、換金して 41,890 円になりました。緑化基金として活用いたします。

GEN では、書き損じはがき（官製はがき）、古切手、外国コイン、未使用の切手やテレホンカード（新品）、商品券などを回収しています。引き続きみなさまのご協力をお願いいたします。

大同緑化協力 25 年の軌跡

熱心な指導者のもとで成功した大同県徐町郷

GEN の山西省大同市での 25 年の緑化協力を振り返り、当時の写真も交えてこれからシリーズでご紹介します。（高見邦雄）



1995 年の徐町郷小王村近くの浸食谷

大同での緑化協力事業が満 25 年を迎え、協力は継続しますがその内容はいくらか変わっていきます。この機会にいくつかのプロジェクトの成果を振り返ってみます。

最初の写真は 1995 年夏に私が撮影したもので、大同県徐町郷（現在は峰峪郷）小王村の近くの浸食谷です。背後は渾源县との境界の龍首山、前方に見える水面は北京の水源にもなる冊田ダムです。6～9 月に集中する雨は、ときに 1 時間 70mm もの豪雨となり、畑の表土や山の土を洗い流し（水土流失）、浸食谷を刻み込みます。



24 年が経過し、浸食谷を覆うほど緑が濃くなった

冊田ダムは大同市の中央部を西から東に流れる桑干河をせき止めたもので、1960 年の完成。ところがダムの貯水能力はこれまでに 3 分の 2 が失われたそうです。上流からの水には 1m³ あたり 22kg の土が含まれ、さらに周

囲からも土が流れ込むからです。

ここを緑化することの意味は一目でわかります。1992 年 9 月に徐町郷を訪れた私は、翌年からここでの緑化協力を決めました。植えたのはアブラマツ（油松）です。とても熱心な指導者がいて、マツはしっかり活着しました。

その成功をみて、夢をさらに膨らませたのです。80ha に 6 万本のアンズを植える計画が地元であり、それに協力しました。1994 年 3～4 月に日本からのツアーも参加して植えたのですが、あれほどいい作業はそれからも経験したことがありません。1 年後には花を咲かせるものもでて、「来年は少しだけ実をならせたい。それをみれば農民の意欲もいっそう高くなります」という提案があったほどです。

ところがこのプロジェクトはみごとに全滅しました。直接の原因はノウサギの食害と虫害ですが、より本質的には人事異動で郷の指導部が入れ代わったため

す。それ以来、長くこの村を訪れることはなかったのです。

2 年前、前中久行代表といっしょに小王村を訪れると、最初に植えたマツが大きく育っていました。これまでのプロジェクトを振り返ることを思い立ち、2017 年 2 月末に大同を訪れ、また行ってきました。1 週間前に 10cm ほどの積雪があり、まだ雪が残っていて、土もどろどろで滑るので、四つんばいになって斜面を登りました。そして撮ったのが 2 枚目の写真です。この 2 枚の写真をもとに大同市総工会の柴京雲副主席にみせると、あまりの変化にびっくりしていました。

林の前に「国家級公益林管護区」の記念碑があり、そばに護林員がいました。山火事を警戒しているのです。私が「このマツを 1993 年に植えるとき私も参加しました」と話しかけると、「覚えています。中日友好です」という言葉が返ってきて、しっかりと握手しました。うれしいですね。

その反面、あの浸食谷の風景をみることはできないのは、もったいないような気がします。1990 年代に 6 年間、大同に通い、撮影をつづけた橋本紘二さんは、その写真集に「浸食大地」と名付けようとしていました。発刊時にはより一般的な『中国黄土高原～砂漠化する大地と人びと』となりましたが、

浸食谷の光景に私もすごくこだわっていました。1992 年 1 月に最初に大同を訪れたときからビデオを回していましたが、なんとかこの迫力を出せないものかと考え、浸食谷のうえにピアノ線を張って、カメラを滑らせて撮影できないものかと空想したものです。いまならドローンをつかって実現できるかもしれません。



山火事を監視する護林員

歴史・自然・人

河北省張家口市蔚県はこんなところ



近代的なデザインの蔚州博物館

大同での緑化協力事業が 25 年を迎えたのを区切りに、新しく河北省張家口市蔚県で緑化協力事業を開始することになりました。蔚県は大同市広靈県との地続きの東隣りで、地形や自然環境もよく似ています。

4 月に最初の緑化協力ツアーを派遣しますが、農村での植樹作業だけでなく、多彩な楽しみが待っています。

大きな魅力として蔚県の歴史の長さをあげることができるでしょう。旧石器時代の泥河湾遺跡が県内で発掘されており、開館されたばかりの蔚州博物館でその概要を知ることができます。

蔚州城は城壁によって守られていましたが、いまでは北と東にその一部が残っています。城壁の北側に建っていた見張り台「靖辺楼」はその後、道教の「玉皇閣」に変わっており、いまは



蔚州古城にそびえる南安寺塔と景仙門

国費で修復中です。

ツアーが宿泊する蔚州古韵客栈は古城の中心にある鼓楼の脚下にあります。鼓楼に登れば、蔚県の県城をぐりと見ることができ、さらに県の南部の山地、県の北部の丘陵地、そして東西に長い中部の盆地を一望することができます。そして、古城のなかを散策するのにもとても便利です。

中国の古代都市は城壁に囲まれています。ところが蔚州古城は、壺流河などの自然の河川を堀として利用し、それに沿って建てられているために不定形をしています。

GoogleEarth を使える人は、まず「蔚県」で検索し、北緯 39 度 50 分 34.7 秒、東経 114 度 33 分 56.6 秒のところをみてください。それが鼓楼です。そのすぐ東にあるのが蔚州古韵客栈で、屋根に「暢遊蔚州古城 領略蔚州風情」（蔚州古城を心ゆくまで遊び、蔚州の風情をしっかりと味わう）と書かれています。周囲をぐりと囲んでいるのが城壁です。

注意しなければなら 交通量の多い蔚県古城ではご注意を



2017 黄土高原 スタディツアー 予告

今年 8 月のスタディツアーの日程が決まりました。村での植樹や交流のほか、小五台山でのハイキングも楽しめます。詳細は未定ですがオプションで山西省大同市の訪問を加える可能性があります。
○日程：8 月 26 日（土）～31 日（木）

○訪問先：中国河北省張家口市蔚県（北京経由）
○定員：30 名程度
○参考費用：169,000 円（今年春実績）
閑空発着。
※詳細は次号でご案内します。



大学生が感じた黄土高原スタディツアー これまでの成果を未来につなげるきっかけに 村松 弘一（学習院大学教授）

学習院大学では2013年からGENのスタディツアーに毎年学生を派遣しています。ツアーに参加した学生が感じたことなどをGEN世話人でもある村松弘一さんがまとめていただきましたのでご紹介します。

学習院大学ではGENの夏のツアーに2013年から毎年数名の学生を派遣しています。昨夏の2016年夏のスタディツアーでは8名の学生と2名のスタッフが参加しました。みなさんご存じのとおり、GENの参加者の多くは団塊の世代よりも年上の方々。私から見れば団塊の世代の皆さんは親の世代ですが、いまの大学生からすればおじいちゃん、おばあちゃんの世代なんです。

学生にとってみれば遙か昔の学生運動の話をする方、毛沢東や文革を語る方、ひたすらなぞなぞを出題する方、昼間からビールを飲む方々、中国そのもの以上にショッキングな旅だったにちがいありません。学生たちは、ツアーに参加して異なる世代や社会人の人と話す機会ができてよかったと、帰国後の感想で述べています。

昨夏のツアーは大同で木を植える最後のツアーということもあり、GENの25年の成果をたどるもので、植林の機会はあまり多くありませんでした。それゆえ、植林するぞ！と血気盛んに参加した学生たちのなかには、もっと木を植えたかったという感想をもったようです。また、残念ながら、村を訪れて交流する機会がなく、言葉はわからないながらも、現地の人とコミュニケーションをとる機会が欲しかったという意見も学生から聞きました。

このようなこれまでにない特別なツアーであっても、学生たちはきちんといろんなことを考えています。以下いくつか見てみましょう。
・植林というその場での一点の行為としてではなく、未来に植林の成果・効果が現れるものであるということを実感した。植林・緑化に付随してその地域の経済面の自立・発展を促進し、教育の充実など包括的な成長

を促すことができる。自然だけでなく、それに関わる人の成長も可能にする植物の根のようなシステムの偉大さを感じた。

- ・多くの人が緑を増やすという同じ目的の下に集まって活動が続ければ、数年はかかっても大きな成果を残すことができるのだと思いました。これから何かを行っていくときに目的や強い意思をもって取り組む姿勢を見習いたい。
- ・日中戦争の激戦地にもかかわらず、とてもにこやかに高見さんへ熱烈な感謝を述べていたのが印象的でした。戦争を知らない世代としては、二度と戦争を起こさないために、現地で事実を知り、人との交流や植林のような現地の役に立つことをすること大切。
- ・次の世代の担い手として、若者から年配の方まで幅広い人と話し、もっと自分が一人の人間としてやれることを具体的に考えていき、そうした考えをお互いに交換して次の20年にむけたとりくみの形をさぐっていきたい。
- ・今回のツアーは「見届ける旅」だったように思う。苗木を植えて木々の成長を見ることがもたらした影響は、このことが国同士の友好にもつながっている。木を植えたのは私ではないが、これまでに植えた「苗木」の成長を見届けた貴重

な一週間であった。

二十歳前後の彼らは前に向かう世代です。25年の成果の思い出や感傷にひたるよりも、その成果を自分たちが未来にどうつなげるのかを考える一週間になったようです。

さて、今夏も、学生には新たな植林地の蔚県で日本では得ることのできない経験をしてほしい、そして、未来を考えて欲しいと思っています。学生たちは学内広報のパンフレットに次のようなコメントを寄せてくれました。

- ・中国がはじめての人から留学経験者まで、普通の観光では行けないような農村や自然を満喫できる一週間の旅！
- ・中国語ができなくても中国の生活や文化を肌で感じられ、植物や町おこしに関する興味深い話が沢山聞けます！
- ・いよいよ、GENの新たな未来の森を考えていくツアーがはじまります。次の世代に引き継ぐため、なんとか若い学生の力をGENにも結集させていければよいと思っています。
- ・追記：なんと、今回のツアーに参加して、社会人参加者が経営する会社に就職が決まった学生もいます。就職のマッチングまでするGENツアー、すごいです！



世代を超えた参加者同士の交流もスタディツアーの魅力のひとつ。

黄土高原史話<82>

象徴としての永寧寺（上）

北魏が減んで13年後の547年、東魏の役人になっていた楊銜之は、都の鄴（河南省）を発って洛陽方面への出張を命じられた。

「私は役向きの旅の道すがら、再び洛陽を見る機会を得たが、城壁は崩れ落ち、宮殿は傾き倒れ、寺院は炭燼に帰し、廟塔は廃墟となっていた。」

久しぶりの洛陽だったが、こうした旧都のありさまを見て、我が目を疑い、しばし呆然と立ちつくす。

「都の内外の千をも越えた寺々は、今やがらりとした廃墟となり、鐘の音は聞こえることもない。」

しかし、このままでは壮麗を誇った寺々も忘れられてしまうと思い返し、『洛陽伽藍記』の執筆を思い立った、と（序文）。

ところが、寺の数は1367。とうてい全部は紹介しきれないので、大伽藍だけ取り上げ、中小の寺院については不思議な話がある場合や、世俗の事どもと関わりがある場合のみ言及した、と。そのうちのいくつかは、本シリーズでもふれておいた。

序文について、巻第一から巻第五まで、城内・城東・城南・城西・城北の諸寺が順次紹介されるが、このうち洛陽随一の大寺院として著者が最も力を入れたのが、巻第一城内の冒頭に置かれた永寧寺にほかならない。

永寧寺は、第7代宣武帝の妃にして第8代孝明帝の母たる靈太后胡氏が、516年に建立。ここで改めて紹介すると、境内には九重の塔があって、高さ

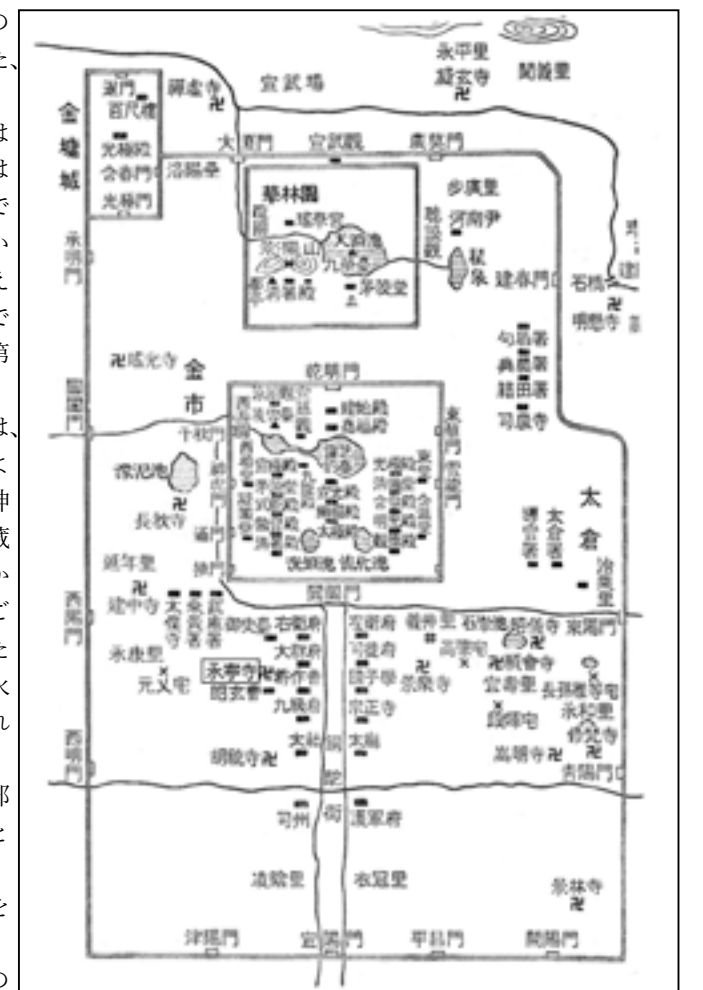
谷口 義介（GEN 会員）

約150メートル。「建築技術の粋を尽くし、造形美術の妙を極めたこの莊嚴の精巧さは、この世のものとは思えぬほど。塔の北側には、天子のいます大極殿にも似た仏殿があり、その中には等身大の黄金仏など21体。僧房と楼観は合わせて千余間。数年かけて塔が完成すると、靈太后は孝明帝とともに登って眼下を見下ろしたが、都全体の眺めはあたかも家の庭を見るようだった、と。

「このころ国は富み栄え、国庫は満ち溢れて、裸で廊下に積まれている銅銭や絹が数え切れないほどであった。」（巻第四）。

「このころ」とは、『魏書』食貨志によると、孝明帝の「神龜・正光の際、府蔵は盈満す」とあるから、518～524年ごろのこと。こうした財力をバックに、永寧寺の造営がなされたのだろう。

しかし、宮廷内部では、靈太后胡氏と孝明帝の党が諸王・宦官を加えて暗闘をくり返していた。528年、孝明帝の



GEN 関東ブランチ 西伊豆春合宿

今年も GEN 関東ブランチの西伊豆春合宿をおこないます。行楽シーズンの

この時期に海あり山あり、魅力たっぷり
の西伊豆を満喫しませんか。
○日程：2017年5月12日（金）夕方
～5月14日（日）昼ごろ
○場所：静岡県西伊豆町宇久須
○内容：宇久須財産区でもある硅石採
掘跡地の緑化プロジェクトや財産区
の山林にあるシキミの実生を集めな

がら新緑が美しい伊豆の山林を歩
きます。また、耕地では面積を減らし、
負担軽減を図ります。サトイモ・サ
ツマイモの作付けを行う予定です。
★詳細は4月中旬に確定します。興味
のある方はお気軽にご連絡ください。
○問い合わせ：上田信 ueda@rikkyo.
ac.jp

情報ひろば
いっしょなかたち

KEN-Vi 名画サロン特別上映会

池谷薫監督全 4 作品

一挙上映&トーク

中国山西省日本軍残留問題を描いた『蟻の兵隊』などドキュメンタリー映画で数々の賞を受賞している池谷薫さんの作品を神戸で一挙に上映します。

○日時：2017年4月7日（金）10時30分～『延安の娘』／14時～『蟻の兵隊』／4月8日（土）10時30分～『先祖になる』／14時～『ルンタ』

開場は30分前、終了後監督のトークとサイン会があります。

○場所：兵庫県立美術館ミュージアムホール（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1（HAT 神戸内）阪神岩屋駅下車徒歩8分）

○主催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会・NPO 神戸 100 年映画祭・蓮ユニバース・兵庫県映画センター

○後援：甲南女子大学

○料金：1 回券（映画&トーク）一般・シニア 1,000 円、2 回券 1,600 円、4 回券 3,000 円、芸術の館友の会会員 500 円、NPO 神戸 100 年映画祭賛助会員 800 円、NPO 神戸 100 年映画祭正会員無料。※入場券はすべて当日（4月7日10時～）会場にて販売。

* 当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。
* 当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月 15 日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

定員 250 名（満員の場合入場制限あり）。

○問合せ：兵庫県映画センター内 KEN-Vi 名画サロン係 tel. 078-331-6100

○後援：大阪府、東大阪市、八尾市、八尾市教育委員会、八尾市社会福祉協議会

ハッピーアースデイ 大阪 2017

ハッピーアースデイは地球について考え、行動する日として世界に広がっています。大阪では 2010 年から始まり、15,000 人が訪れています。マーケット出展のほか、ワークショップ、チャリティマラソンなど体験型ワークショップも行われます。会場内のレンタル食器は利用手数料がかかります。マイ食器をご持参ください。

○日時：3月25日（土）11時～17時、3月26日（日）10時～16時

○場所：久宝寺緑地（大阪府八尾市西久宝寺 323 tel. 072-992-2489）修景広場周辺（JR 関西本線大和路線「久宝寺」駅より北へ徒歩 10 分、近鉄大阪線「久宝寺口」駅より西へ徒歩 10 分）

○主催・問い合わせ：ハッピーアースデイ大阪実行委員会 <http://www.happy-earthday-osaka.jp/>

○共催：都市公園久宝寺緑地指定管理共同体

土佐文旦をどうぞ

土佐の春の香りをお楽しみください。

A	3-4L	5kg (6-9 玉)	4,200 円
B	2L	〃 (10-11 玉)	3,700 円
C	L	〃 (12-13 玉)	3,200 円

倍量の 10 kg 箱もあります。

送料 関西 650 円 関東 860 円 北海道 1200 円 (20kg まで)

★ご注文は下記まで

【田中農園】

〒781-7412 高知県安芸郡東洋町河内 203 Tel. / fax. 0887-29-2500

e-mail : tanakan3@crocons.ocn.ne.jp

※売り上げの一部を寄付していただいていますので、ご注文時に一言「GEN の紹介」と添えてください。

編集後記

3 月、まもなく春です。出勤時に華やかな袴姿の女性を目にするようになり、卒業シーズンなのだと気づかれます。そして花粉の舞う季節。関西は前シーズンより非常に多い予想とのこと、花粉症のわたしはマスクなしでは外出できません（河本）。